

# 授業プラン 〈たんぽぽ〉

## 研究物語

仮説実験授業研究会・北海道

丸山秀一

- 1993. 1 プラン作成・勇払たのしい授業サークルで発表  
たのしいプランが作れそうな気がして、作ってみました。授業では馬鹿受け。サークルのみなさんはたのしんでくれるでしょうか。
- 1993. 2 「研究物語」作成・札幌たの教サークルで発表  
勇払のサークルでも馬鹿受け。大人たちまでたのしめるようです。そこで「本格約にまとめよう」と思い、「研究物語」を作成し、レポートを作りました。また出典を明確にするための調査もしました。ご検討ください。
- 1994. 1 幡豆大会に向け 改訂  
仲野さんが仮説の会員になられたので連絡を取ることができ、プランの出典がはっきり致しました。そのことについて「研究物語」に書かれました。また全体時に手直しをしました。
- 2004.4 全面的に打ち直しました。

### 原典・謝辞

このプランは、『会員レポート』に紹介された仲野敬司さんのまどみちおさんの詩を使った授業と、プラン〈さる・るるる〉(伊藤善朗さん作)のアイデアを併せて、丸山が模倣したものです。以上のみなさまに感謝申し上げます。

### 研究物語

#### ■これはたのしい!

1993年3学期の始業式の日、試験監督〈うちの高校は始業式の日には試験があるのです〉をしながら『月刊レポート』(仮説実験授業研究会内のガリ本・岡崎則武さん編)1992年6月号を読んでいました。その中に、竹内幸子さん編の「なわてサークル」のサークル通信

である「ゲジゲジ倶楽部」というレポートがありました。そこで、仲野敬司さん（門真市立五月田小学校）という方が、たのしい詩の授業を紹介していたのです。それが、まどみちおさんの「タンポポ」という詩だったというわけです。

仲野さんは「〈タンポポ〉をよぶとき、動物たちはいったいどうよんでいるのでしょうか？」というように、子どもたちに問い掛けながら授業をやっているようでした（詳しい授業の内容は載っていませんでした）。ボクも、まどさんの詩を読みながら試験中なのに、思わずニヤニヤしてたのしみました。だって、とてもたのしいのです。

「タンポポ」 まどみちお作

だれでも タンポポを すきです

どうぶつたちも だいすきです

でも どうぶつたちは

タンポポの ことを

タンポポとは いいません

めいめい こうよんでいます

イヌ・・・

ウシ・・・

ハト・・・

(…以下プランをまずたのしんでもらいたいので省略します)

たとえば「イヌはタンポポのことをなんと呼んでいるか」なんです。そして「たにし」「からす」「でんでんむし」…などと続いていきます。その「答え」を、とてもかわいらしく思ったり、納得してしまったりしてしまうのです。

このまどさんの詩は、どこかで読んだような気がしました。「山本正次さんの国語の会」に何度か参加しているので、もしかしたら山本さんが紹介してくださっていたのかもしれない。

## ■授業プランへ

「これは間違いなく生徒さんたちもたのしんでくれる」そう思って、授業のために、仲野さんが紹介している

まどみちお作詞、スズキコージ絵、『わまわし まわるわ』童心社  
という本を探したのですが、なかなかみつかりません。でも、

工藤直子編 まどみちお詩集『せんねん まんねん』童話屋  
という本を見つけることができました（この本は多くの本屋にありました）。でも、この見つけた本には、詩だけで絵がないので、なんか寂しい感じがしました。

というのもボクが予想した仲野さんの授業は、伊藤善朗さんが作られた〈さる・るるる〉

(伊藤善朗『とりあえず国語教師』ガリ本)のように、「一間ずつのプリント」になっているものだったのです。それで「絵のない詩集」しか見つからずとても寂しく思ったのです。

それでボクは、ボクの予想のままに〈さる・るるる〉と同じようなプランを作り始めました。〈さる・るるる〉のまねをして、

たにし

あなたの考え ( )

まどさんの考え ( )

という様にしました。

でも、やはり〈さる・るるる〉のように「絵」がないと寂しいものです。しょうがないので、学校にあった『イラスト集』から、いくつかのイラストをコピーして、貼り付けました。それでもうまらない絵は、ボクが描きました。(その後イラストは、全部新たに描き直しました)あと「タンポポ」というようなカタカナよりも、ひらがなの方が合っている感じがするので、タイトルをひらがなにしました。

その後『わまわし まわるわ』を購入したのですが、絵はイラストのようなものではなく、絵本の背景のような感じの絵でした。

#### ■仲野さんの授業

その後、仲野さんからお手紙をいただいて、仲野さんがやっていた授業の様子が分かりました。仲野さんのレポートから「授業の流れ」を紹介します。

- ・板書をして、ノートに写してもらいます。「・・・こうんでいます」まで
- ・何度かいっしょに(ひとりで)読みます。
- ・人間はタンポポとよんでいます。
- 「タンポポ」と言ってみてください。
- ・では、つぎのどうぶつは、タンポポをよぶとき、どうよんでいるのでしょうか。

〈板書〉 (予想)

イヌ・・・ワンワフ. ワン

ワンワン. キャンキャン

ワンポポ

(答えを教えて順にいけます)

——以下略——

ということで、ボクの「予想」(〈さる・るるる〉のようなプランではないか)は、間違

っていたわけです。また仲野さんからは、

丸山さんのイラスト入りのプラン。とてもすてきですね。是非使わせてください。「ワンポポ」とつぶやきながら、色を付けている子どもたちの姿が浮かびます。ありがとうございました。

といううれしいお近事もいただきました。

(仲野さんは、こういったプランをまとめる仕事もしているようで、それもたのしみです)

## ■高校2年生のみなさんは大歓迎

以下は授業の様子です。予想通り、生徒さんたちは大歓迎。みんな一所懸命になって考えてくれました。

### ・最初は戸惑って

ボク 「では、〈イヌ〉です。タンポポのことをなんと呼んでいるでしょうか」

みなさん「(声をそろえて) ワンワン！」

ボク 「違います」

みなさん「じゃあ、ワーンワン！」

ボク 「それも違うなあ」

みなさん「ワンワーン！」「ウーツワン！」「ワン！」

〈ワン〉ばかり出てきたのでびっくり。どうも高校生のみなさんは、まだ頭がほぐれていないようです。

ボク 「〈ワン〉じゃないの！〈タンポポのことをなんと呼ぶか〉だよ」

みなさん「だって、イヌは〈ワン〉しかいわないよ・・・」

ボク 「(それはそうだ・・・) ああ、あのね、〈心の中でなんと呼んでいるか〉なの」

みなさん「ふーん」

というように、最初わかってもらうのに、ちょっと時間がかかりました。でも、すぐにみなさん慣れたようでたのしんでくれました。おもしろいのは、みなさん結構真剣になって考えてくれたことです。

生徒さん「タニシは、水の中にいるから泡が出て〈ブクブク〉かな？」

などと真剣に悩む姿がたくさん見られました。

でもそうかと思うと、下ネタも・・・。

「タンボン！」(男子一同 ギヤハハハ！)

女子はかわいく

「ポポロン？」

・「でんでんむしはしゃべんないよ！」

みなさん結構「答え」を当ててしまうのでびっくり。なかでもおもしろかったのは、「でんでんむし」のところですよ。

みんな「せんせ、でんでんむしは、しゃべんないよ！」「そうだ！そうだ！」との抗議の嵐。  
ボクは「イヌや牛だってしゃべらんだろうが」と思いながらも・・・

ボク 「うーん。あつ、声は出せないけど、〈心の中でなんと呼んでいるか〉ということなの！」

みなさん「なんだあ。そうか」

とっても素直な生徒さんたちは、すぐに納得してくれて、この詩の世界にどっぷり入ってしまったのです。

また、みなさんが、あまり真剣になって考えてくれるので、中には心配になった生徒さんもいたようで、こんな質問がありました。

島野君「本当に動物はそう呼んでいるの？まどさんが考えたことを当てただけでしょ?!」  
だって。優等生の島野君も結構カワイイ！

生徒会長の吉夫君は、ほとんどの答えを当てることができました。

ボク「この問題は、〈自然の中で生活している人〉の方が有利かな？平取のみんなは、きつと得意だね。吉夫君なんて、もしかしたら、動物と話ができるんじゃないの」  
みなさんは大笑い。

・テストに出るの

また、こんなことも・・・

ボク 「こんどのテストは、これを出そうかなあ」そういうと、  
和美さん「えーっ！！テストに出るのお。でんでんむしは、タン。たにしは・・・」  
と復習を本気で始めました。うーん、冗談をわかって欲しいのだから・・・。

■たのしい時間を 子どもから大人まで

普通のくだらないプリントだと、うちの生徒さんは、すぐに〈丸めてポイ〉。でも〈タンポポ〉のプリントは、みなさんホッチキスで綴じてくれました。やっぱり、気に入ってもらえたみたいですよ。ボクは「へびは？カエルは？」と授業が終わったあとも、生徒さん

をつかまえては復習してたのしんでいます。

その後、高校一年生のみなさんともやってみて、やはりとてもたのしめました。また、別のサークルでやったところ、大人のみなさんも大歓迎でとてもたのしんでもらえました。もちろん小学校でやってくれた方からのうれしい便りもいくつかいただいています。子どもから大人までみんなでたのしめるのではないのでしょうか。ぜひやってみて、結果を教えてください。

最後にもうひとつ、たのしいエピソードを紹介しておきます。このプランの質問で最初がイヌですので、それ以降「次は何だと思う？」と聞いて配ると、みなさん「ネコ！ニヤンポポ！」というのを繰り返すのです。でも「ネコ」は出てこないのです。

丸山秀一

[kasetsu.maruyama@nifty.com](mailto:kasetsu.maruyama@nifty.com)